

経営比較分析表（平成28年度決算）

秋田県 大湯村

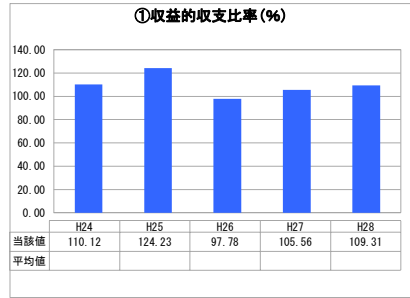
| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|-------------|--------|--------------------------------|
| 法非適用 | 下水道事業 | 特定環境保全公共下水道 | D1 | 非設置 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 有収率(%) | 1か月20m ³ 当たり家庭料金(円) |
| - | 該当数値なし | 100.00 | 72.92 | 4,692 |

| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 3,207 | 170.11 | 18.85 |
| 処理区域内人口(人) | 処理区域面積(km ²) | 処理区域内人口密度(人/km ²) |
| 3,144 | 2.97 | 1,058.59 |

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 平成28年度全国平均

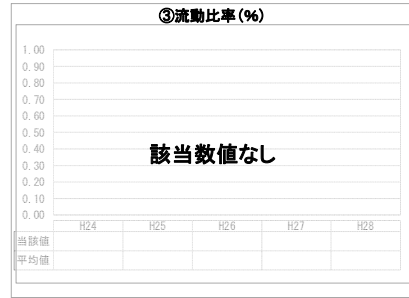
1. 経営の健全性・効率性



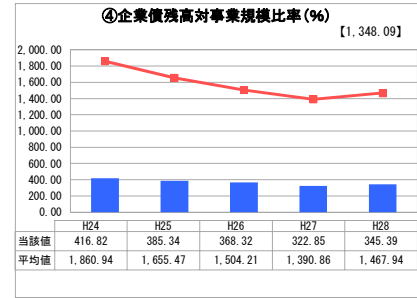
「単年度の収支」



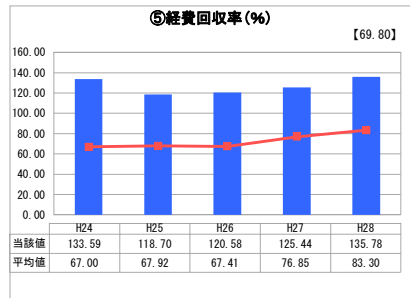
「累積欠損」



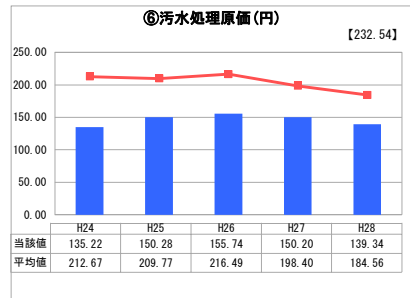
「支払能力」



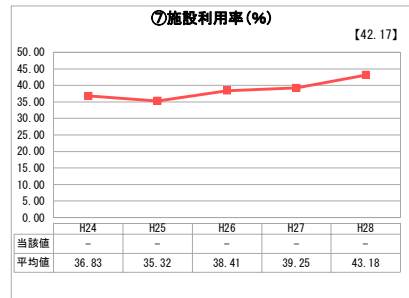
「債務残高」



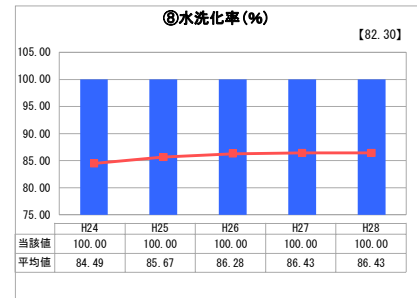
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

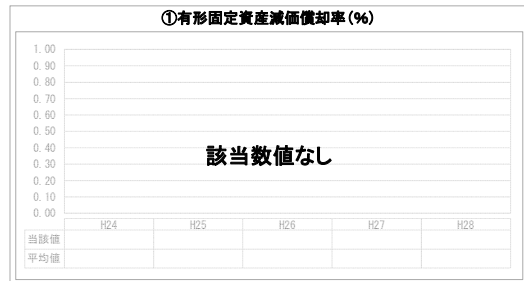


「施設の効率性」

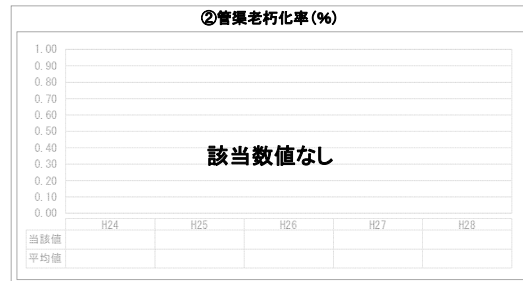


「使用料対象の捕捉」

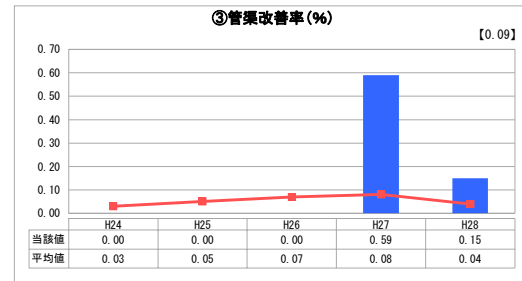
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①収益的収支比率**
当該指数は100%を越えており健全である。
- ④企業債残高対事業規模比率**
類似団体と比較して低い水準にあり健全である。減少傾向にあったが平成27年度を境に増加傾向にある。これは、平成27年度から社会資本整備事業と下水道事業債を活用し、下水管の布設替えを行っているためである。この布設替えは平成33年度まで行われる予定であるため、それまでは増加傾向が続くと予想される。
- ⑤経費回収率**
類似団体と比較して高い水準にある。また、回収率も100%を越えており健全である。
- ⑧水洗化率**
類似団体と比較して低い水準にあり健全である。100%であり類似団体と比較して高く健全である。

2. 老朽化の状況について

- ③管渠改善率**
平成27年度から増加しており、類似団体と比較して高い数値となっている。これは平成27年度から社会資本整備事業と下水道事業債を活用し、下水管の布設替えを行っているためである。この布設替えは平成33年度まで行われる予定であるため、それまでは類似団体よりも高い水準が続くと予想される。

全体総括

経営の健全性・効率性については類似団体と比較しても健全性が高いことがわかる。
老朽化の状況については、現在下水管の布設替えを行っているため、類似団体と比較して高い数値となっているが、現在の健全性の状況を考慮すると、健全性を保ったまま下水管の布設替えを行う事ができると予想される。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。